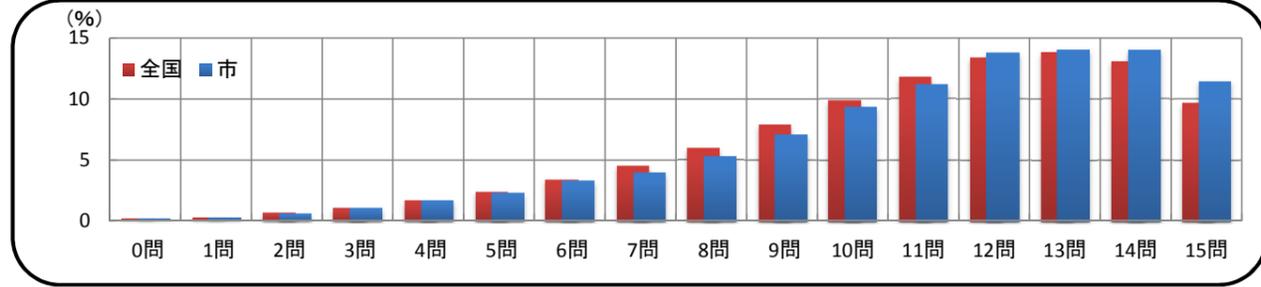


国語A 主として「知識」に関する問題

平均正答率  
さいたま市 74.2%  
全国 72.9%

1 正答数分布（正答数ごとの児童の割合）



2 設問ごとの正答率等

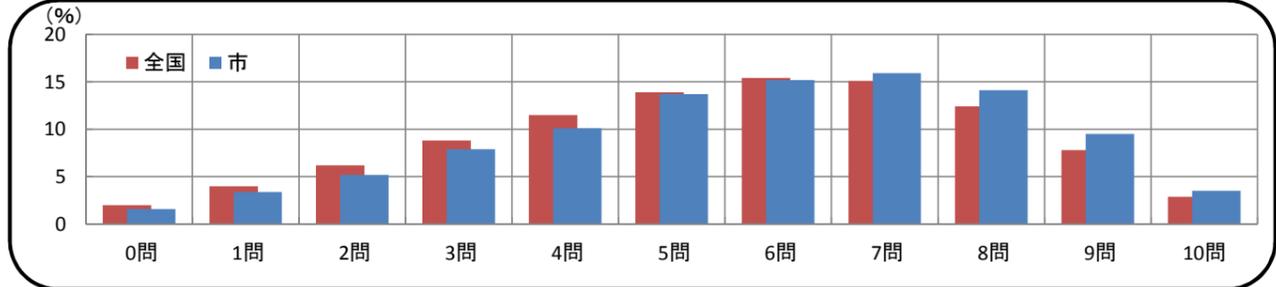
※全国の前正答率は、公立学校の結果です。

問題番号	問題の内容	話聞くこと	書くこと	読むこと	問題形式	正答率 (%)	
						市	全国
1	(1) 道路の標識を見る			★	短答式	93.1	91.7
	(2) 漢字を読む			★	短答式	87.5	87.0
	(3) 勢いよく走り出す			★	短答式	76.5	74.4
2	(1) 料理をのせたさらを選ぶ			★	短答式	98.4	97.8
	(2) 漢字を書く			★	短答式	61.8	59.3
	(3) かせをよぼうする			★	短答式	76.2	77.4
2	故事成語の使い方として適切なものを選択する（五十歩百歩）			★	選択式	52.1	55.8
2	故事成語の使い方として適切なものを選択する（百聞は一見にしかず）			★	選択式	49.4	49.9
3	情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する		★	★	選択式	65.7	58.7
4	新聞の投書を読み、表現の仕方として適切なものを選択する			★	選択式	75.1	71.7
5	物語の一部に入る適切な人物の名前を書く			★	短答式	69.3	65.3
6	「～たり、…たり」という表現に直して書く		★	★	短答式	74.3	74.9
	文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する		★	★	選択式	83.9	83.1
7	話合いの記録の仕方として適切なものを選択する	★			選択式	73.3	72.4
8	言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する（はかる）			★	選択式	76.3	74.3

国語B 主として「活用」に関する問題

平均正答率  
さいたま市 58.2%  
全国 55.5%

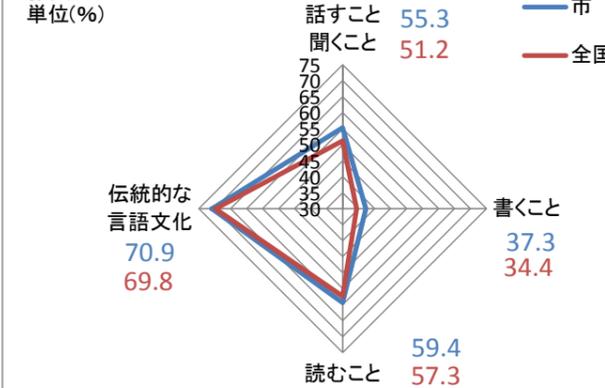
1 正答数分布（正答数ごとの児童の割合）



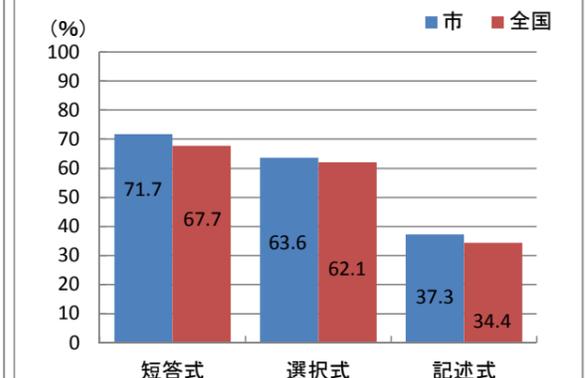
2 設問ごとの正答率等

問題番号	問題の内容	話聞くこと	書くこと	読むこと	問題形式	正答率 (%)		
						市	全国	
1	司会④の発言の内容をまとめて書く	★			短答式	70.0	65.2	
	林さん⑤の質問の狙いとして適切なものを選択する	★			選択式	64.5	60.2	
	大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く	★	★		記述式	31.5	28.3	
2	付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く			★	短答式	75.3	71.9	
	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く		★	★	記述式	29.8	26.9	
	疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く			★	短答式	69.9	66.0	
3	(1) 【詩1】の表現の特徴として適切なものを選択する			★	★	選択式	81.6	80.4
	(2) 【詩2】の表現の特徴として適切なものを選択する			★	★	選択式	60.2	59.2
	【詩2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する			★		選択式	48.2	48.5
3	【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く		★	★	記述式	50.5	48.1	

領域別レーダーチャート



問題形式別正答率



結果概要及び指導のポイント

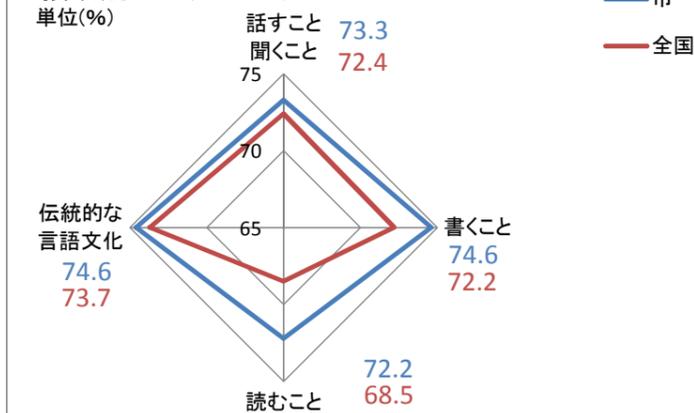
【結果概要】

- ◇文の意味のつながりをとらえ、適切なものを選択することは、相当数の児童ができています。[A6二]
- ◆故事成語の使い方として適切なものを選択することに課題がある。[A2一、二]
- ◆立場を明確にして、質問や意見を書くことに課題がある。[B1三]
- ◆分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことに課題がある。[B2二]
- ◆二つの詩を比べて読み、自分の考えを書くことに課題がある。[B3三]

【指導のポイント】

- 故事成語の意味や使い方を正しく理解できるようにし、実生活の中で意図的に活用できるようにすることが大切である。
- 話合いの場面では、話し手の意図を捉え、自分の考えとの共通点や相違点を明確にした上で、自分の意見を述べるように指導するなど、クリティカルシンキングを意識して指導にあたることが大切である。
- 必要な情報を取り出し、関係付けた上で、自分の考えを書く経験を増やしていくことが大切である。
- 複数の詩を比べて読み、表現の工夫や詩の捉え方を観点にして、自分なりの解釈をするよう指導することが大切である。

領域別レーダーチャート



問題形式別正答率

